

2023年9月1日 全8頁

# 消費データブック（2023/9/1号）

個社データ・業界統計・JCB消費NOWから足元の消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 中村 華奈子

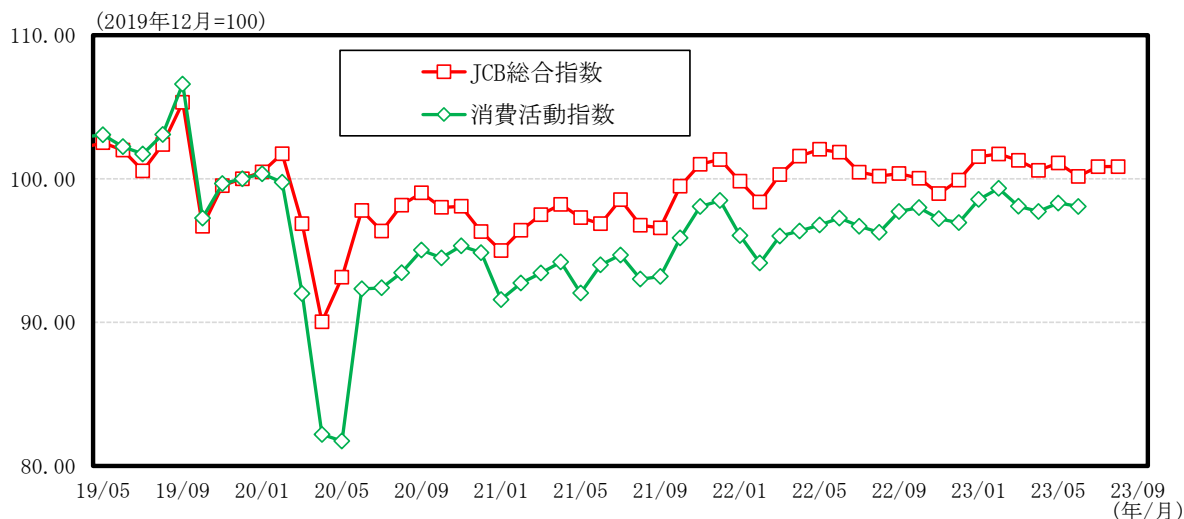
## [要約]

- 2023年7月の消費は前月から小幅に増加した。財消費のうち、百貨店商品販売額やアパレル販売額は新型コロナウイルス感染拡大前の2019年同月比で前月からマイナス幅が縮小した。新車販売台数は前月から減少したが、均して見れば増加基調を維持した（大和総研による季節調整値）。サービス関連のうち、新幹線輸送量は2019年同月比で前月からマイナス幅が横ばいだった。宿泊需要や外食需要は前月から回復した。
- 2023年8月の消費は前月から概ね横ばいで推移したとみている。財消費のうち、百貨店大手3社の既存店売上高は2019年同月比で前月から伸び率が高まった。新車販売台数は前月から増加した。サービス消費のうち、新幹線輸送量は2019年同月比で前月からマイナス幅が横ばいだった。宿泊需要は前月からプラス幅が拡大した。移動人口の動向を見ると、下旬にかけて減少し、2019年同月を2%程度下回った。

## <消費全体の動き>

- ◆【JCB 総合指数】 23 年 8 月前半の JCB 総合指数<sup>1</sup>（大和総研による季節調整値）をもとに 8 月の実質消費額の伸び率を試算すると、前月比+0.0%となった。財、サービスともに前月から概ね横ばいであった。

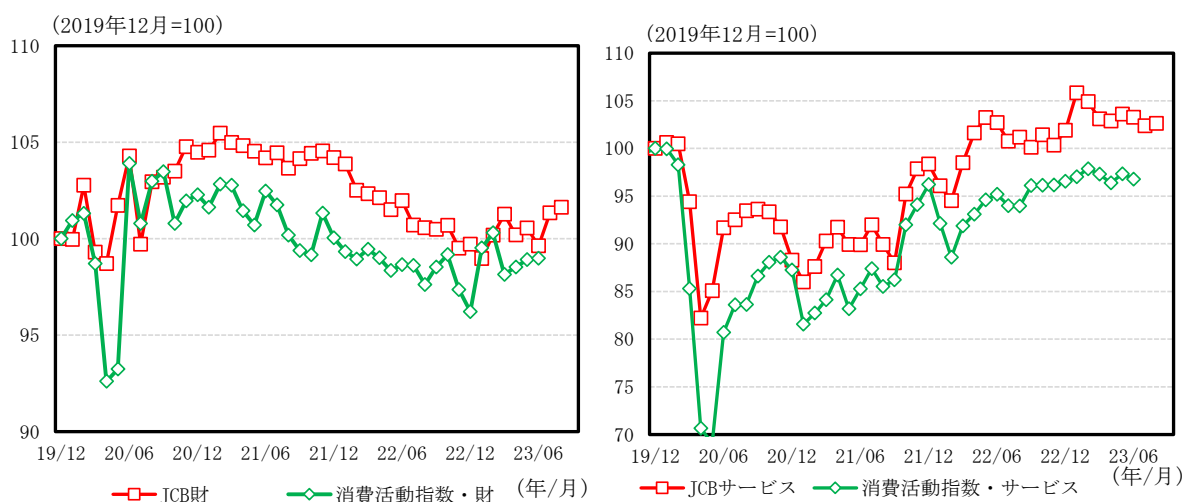
図表 1：消費活動指数・JCB 総合指数



(注) JCB 総合指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。23 年 8 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

図表 2：財・サービス別に見た消費の動き



(注 1) JCB 財指数・JCB サービス指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。23 年 8 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(注 2) 財の消費活動指数は、当該指数の耐久財・非耐久財を形態別ウエイトで加重平均したもの。

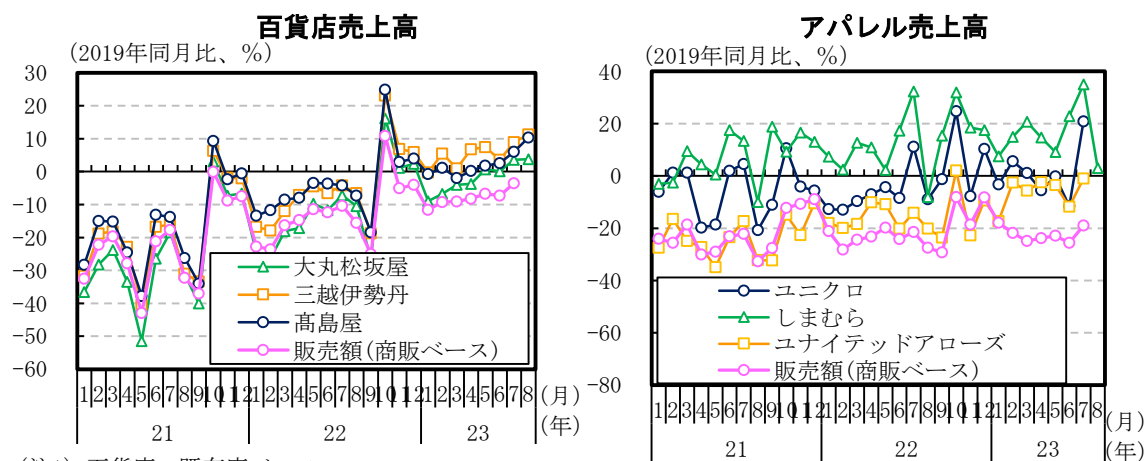
(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

<sup>1</sup> JCB グループ会員の中からランダムに抽出された約 1,000 万会員を対象に、ナウキャスト社が作成・公表している消費指数。

## <小売関連>

- ◆【百貨店】 23年7月の百貨店商品販売額は、新型コロナウイルス感染拡大前である19年同月比で前月からマイナス幅が縮小。8月の百貨店大手3社の既存店売上高は伸び率が高まり同+4~+11%程度。夏物衣料やサングラス、サンダルなどが引き続き好調。
- ◆【アパレル】 23年7月のアパレル販売額（商販ベース）は19年同月比で前月からマイナス幅が縮小。8月のしまむらの既存店売上高は伸び率が前月から低下し、同+3%程度。

図表3：百貨店・アパレルの売上高



(注1) 百貨店：既存店ベース。

(注2) アパレル：既存店ベース。ユニクロとユナイテッドアローズはネット通販を含む数値。

しまむらの各月の数値は前月21日から当月20日の集計値、20年10月以降はオンラインストア含む。

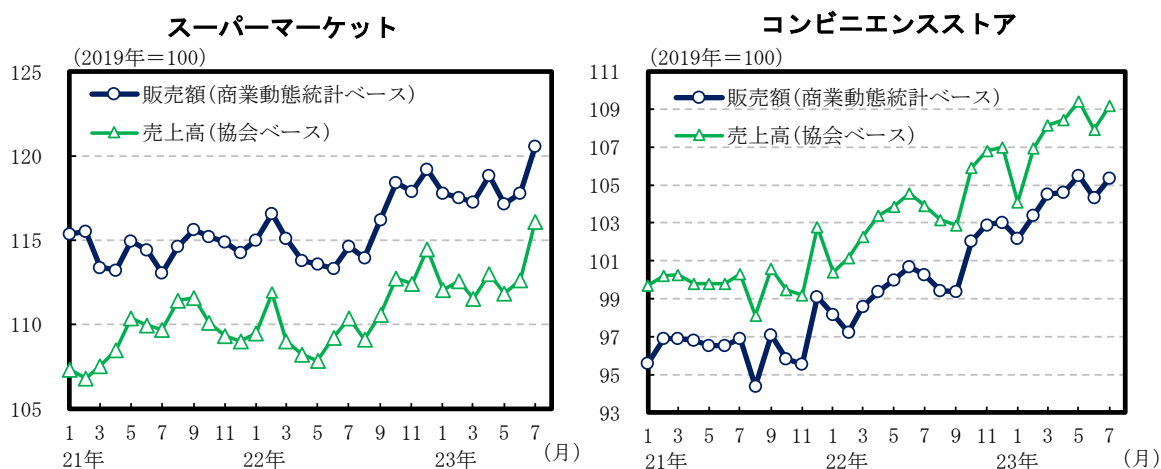
(注3) アパレル販売額(商販ベース)は、商業動態統計の「織物・衣服・身の回り品小売業」を参照。

(出所) 経済産業省統計、各社資料より大和総研作成

- ◆【スーパーマーケット】 23年7月の販売額は前月比+2.4%（大和総研による季節調整値）。飲食料品や衣料品の販売額が増加。

- ◆【コンビニエンスストア】 23年7月の販売額は前月比+1.0%（大和総研による季節調整値）。加工食品やファーストフード、日配食品の販売額が増加。

図表4：スーパーマーケット・コンビニエンスストアの売上高

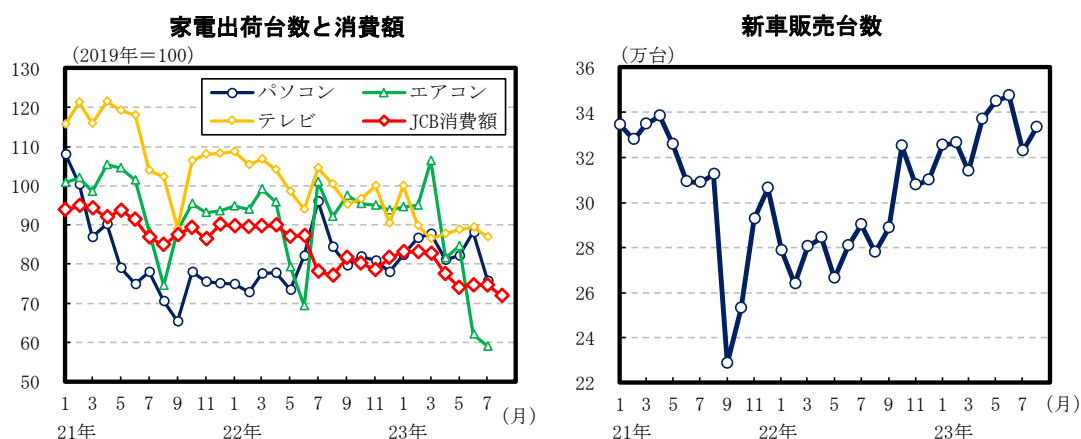


(注) 売上高（協会ベース）は既存店ベースの数値。大和総研による季節調整値。

(出所) 経済産業省、全国スーパーマーケット協会、日本フランチャイズチェーン協会より大和総研作成

- ◆【家電】 23年7月の出荷台数はパソコンが前月比▲14.1%、エアコンが同▲5.0%、テレビが同▲2.7%（大和総研による季節調整値）。8月のJCB消費額は同▲3.5%と前月から減少。
- ◆【自動車】 23年7月の新車販売台数は前月比▲7.1%（大和総研による季節調整値）。8月は同+3.3%と増加。

図表5：家電出荷台数と新車販売台数



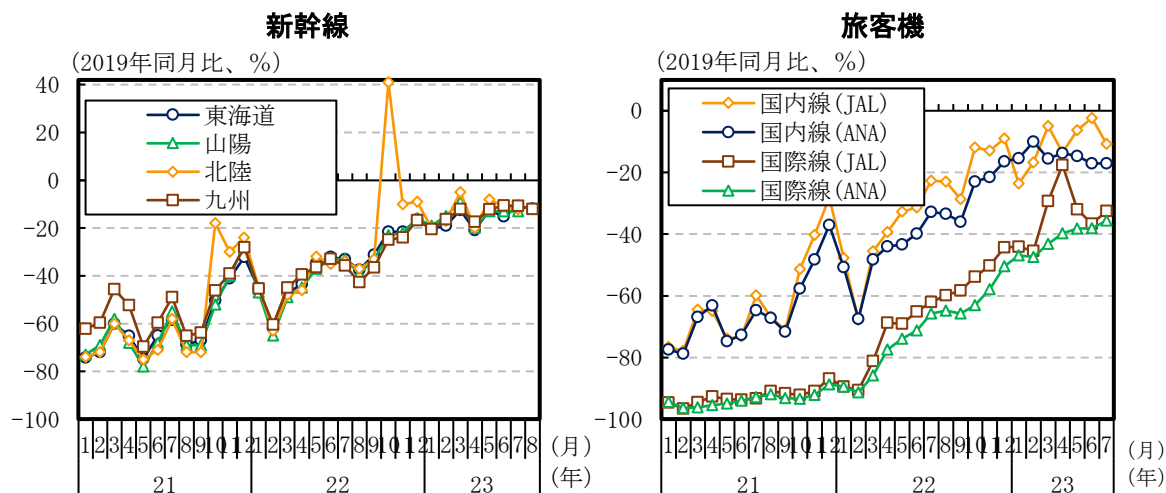
(注) 大和総研による季節調整値。JCB消費額はJCB「機械器具小売業」。23年8月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(出所) 電子情報技術産業協会、日本冷凍空調工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

### <サービス関連>

- ◆【新幹線】 23年7月の輸送量は19年同月比▲10%程度。8月の東海と九州の輸送量も同▲10%程度と前月からマイナス幅は横ばい。
- ◆【旅客機】 23年7月の国内線輸送量は19年同月比で▲20%～▲10%程度、国際線輸送量は同▲40%程度。航空各社は渡航需要の回復を受けて国内線、国際線ともに旅客便の供給量の拡大を発表。

図表6：新幹線・旅客機の利用状況

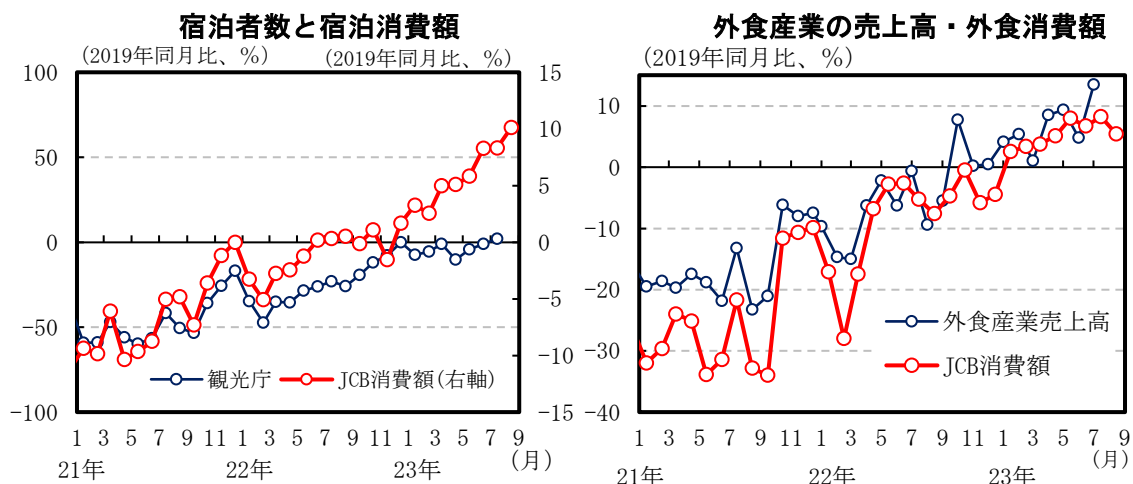


(注) 23年8月の東海は24日、九州は27日まで。JAL・ANAのデータはグループ会社を含む。

(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】 23年7月の宿泊者数（観光庁、宿泊日数ベース）は19年同月比+2.0%と伸び率がプラスに転じた。8月のJCB宿泊消費額は同+10.1%と前月からプラス幅が拡大。
- ◆【外食】 23年7月の外食産業の売上高は19年同月比+13.5%と前月から伸び率が上昇。8月のJCB外食消費額は同+5.4%と前月からプラス幅が縮小。

図表7：国内宿泊者数と関連消費額（左）、外食産業の売上高と関連消費額（右）

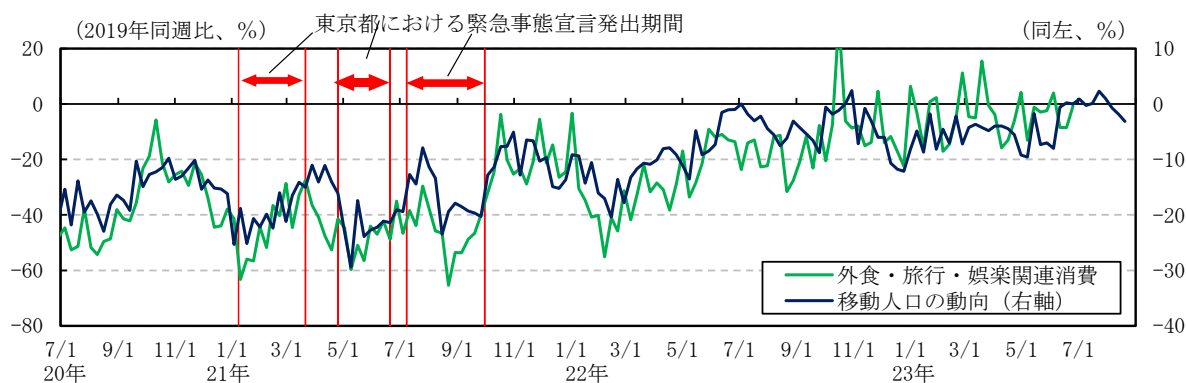


(注) 23年8月分のJCB消費額は月前半のデータをもとに伸び率を試算。観光庁統計は宿泊日数ベースのデータを用いている。

(出所) 観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

## <参考：移動人口の動向>

### 図表 8-1：外食・旅行・娯楽関連消費と移動人口の動向（直近値 8/20）

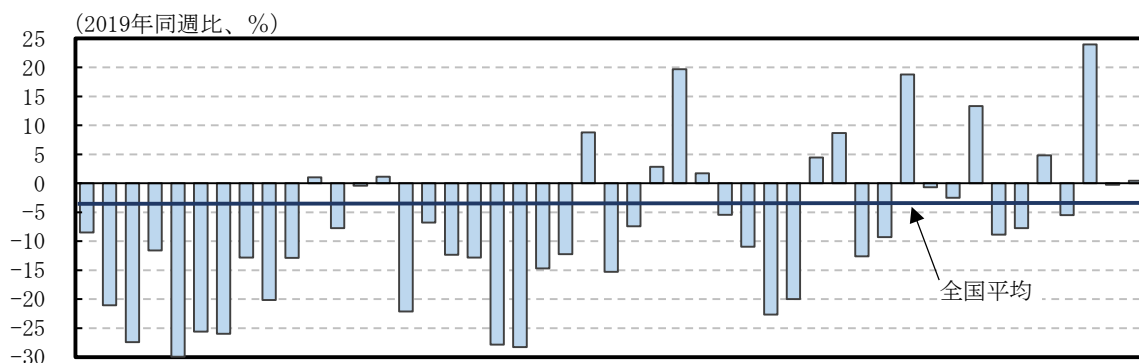


(注) 移動人口は全ての市区町村の「推定居住地が市区町村外のものの人口」を週ごとに集計したもの。

外食・旅行・娯楽関連消費は「外食」「交通」「教養娯楽サービス」の合計値。

(出所) 総務省統計、V-RESASより大和総研作成

### 図表 8-2：移動人口の動向（8/14～8/20 週、都道府県別）

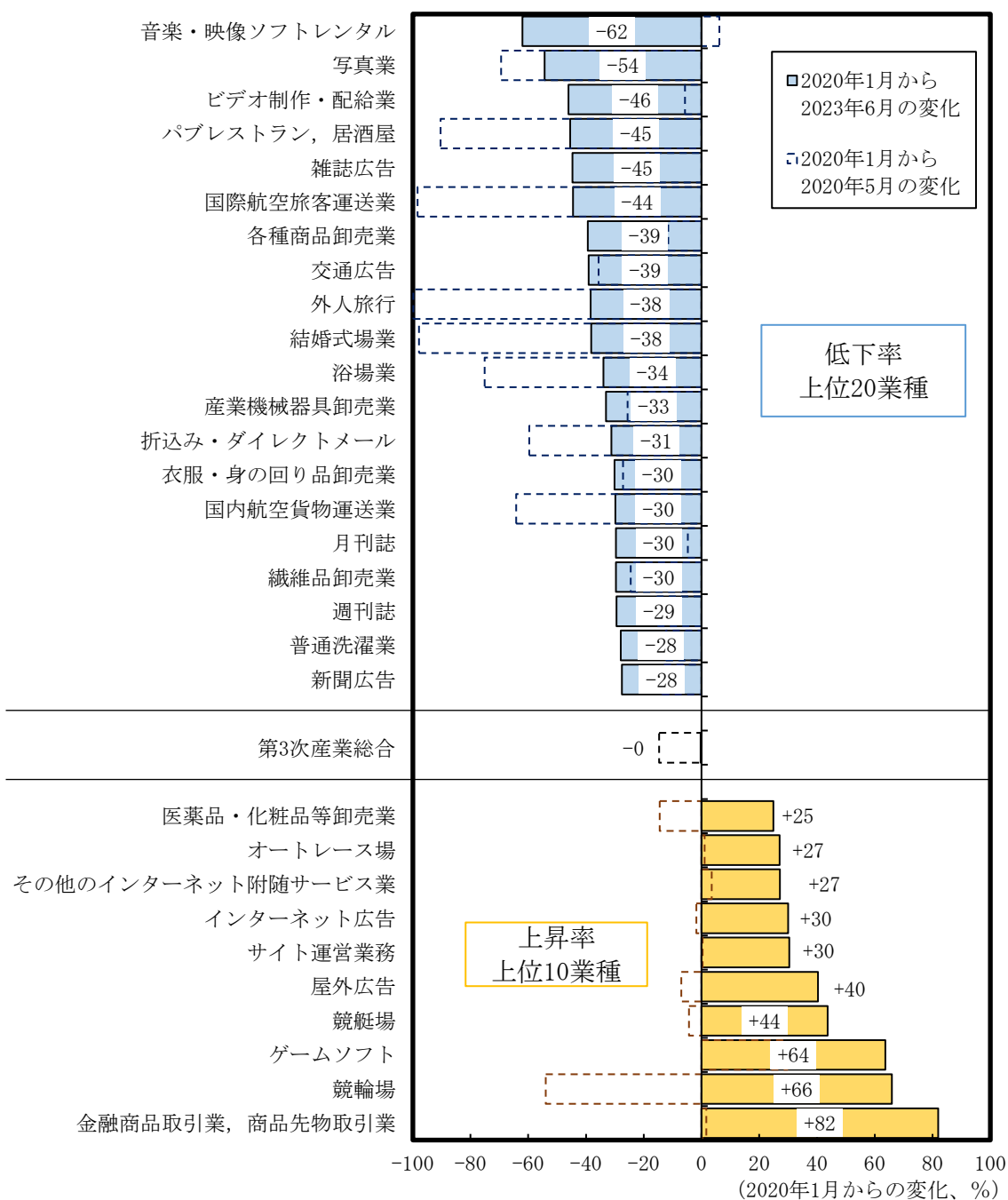


北青岩宮秋山福茨栃群埼千東神新富石福山長岐静愛三滋京大兵奈和鳥島岡広山徳香愛高福佐長熊大宮鹿沖  
海森手城田形島城木馬玉葉京奈潟山川井梨野阜岡知重賀都阪庫良歌取根山島口島川媛知岡賀崎本分崎児繩  
道 川 山 島

(出所) V-RESASより大和総研作成

<参考：第3次産業活動指数>

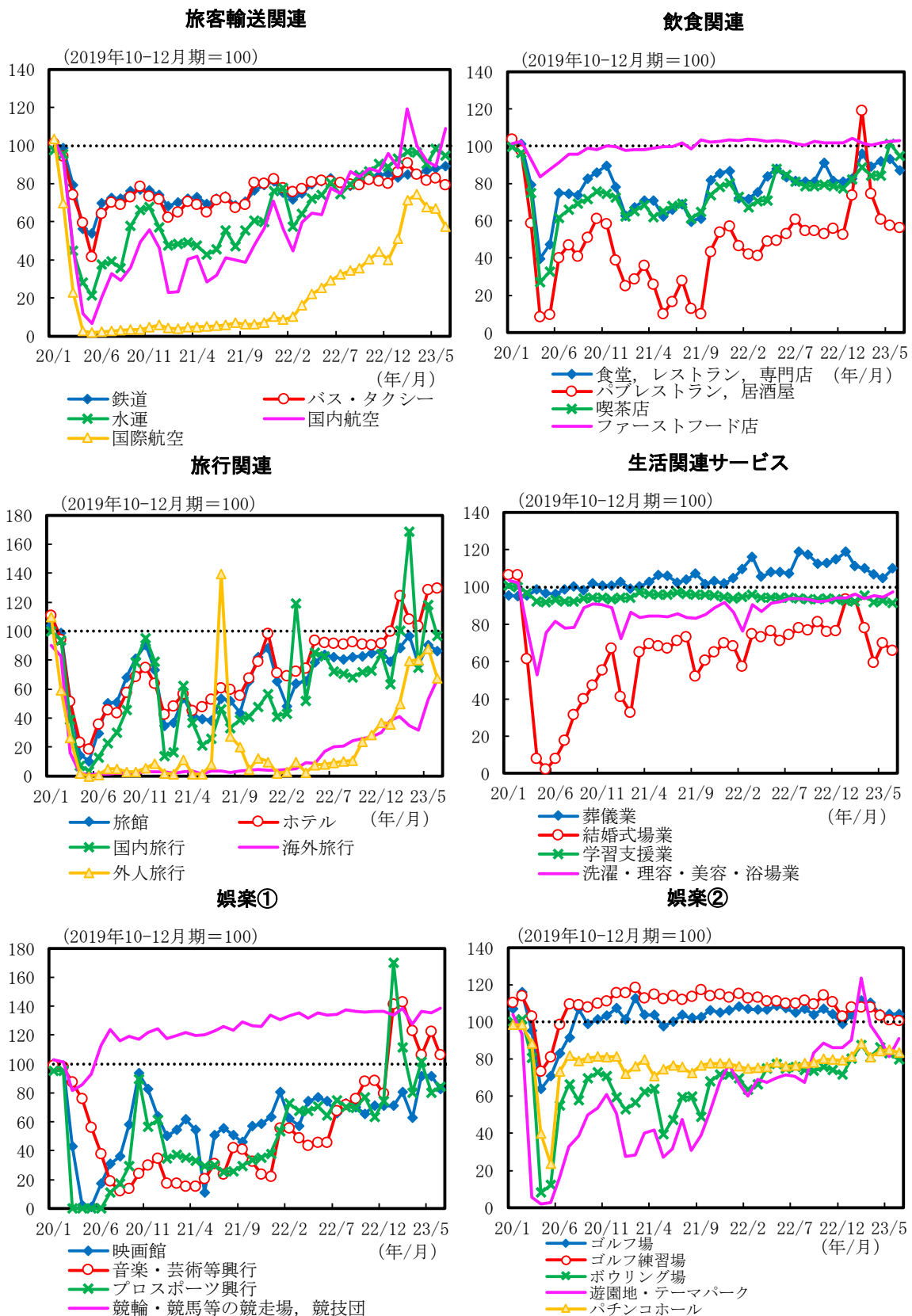
図表 9-1：第3次産業活動指数（2023年6月）



(注) 季節調整値。図中の数値は2020年1月から2023年6月の変化率。

(出所) 経済産業省より大和総研作成

図表 9-2 : 運輸業・生活関連サービス業における活動指数の推移



(出所) 経済産業省より大和総研作成